



せきやど

関宿地区農地・水・環境保全管理協定 運営委員会

(千葉県 野田市)



組織の概要

野田市の北部に位置し、利根川と江戸川にはさまれた水田地帯となっている。

本地区は以前より「藻刈（もがり）」と称し、農家全戸による水路沿いの草刈りを実施していたが、農家の高齢化等により作業が負担となっていた。

遊休農地を活用し、ひまわりの植栽や農業体験を実施し、農家の負担を減らすとともに地域住民との交流を図り、今では地域住民の活発な参加がみられる組織となっている。

取組面積 193.3ha（田：163.45ha、畑30.0ha）



地域資源保全活動

- 年2回地区全域で藻刈（もがり）や芝焼を実施し、それには、非農家を含め多数の参加がある。
- 草刈り労力の軽減のため、センチピートグラス（カバープランツ）を植栽している。



実施前



実施後

農村環境保全活動

- 地域の景観形成のため水路沿いにアジサイを植栽している。
- 昔ながらの風景の復活を願い、ビオトープを設置し、ホタルの放流を行い、観察会を実施している。



植栽したアジサイ



ビオトープ

地域住民との交流活動

○小学生への食育教育のため、遊休農地を活用し、稲作体験やそばの栽培及びそば打ち体験を実施している。

○遊休農地のひまわりを植栽(4ha)し、ひまわり祭りを実施している。



ひまわり畑



稲作体験



そばの脱穀

施設の維持管理活動

○点検・機能診断を実施し、主に要望の多い農道の舗装・補修を実施している。



農道の砂利舗装



農道の舗装

取組の成果

カバープランツは草刈り労力の軽減、景観の向上及び法面の土砂崩れ防止の効果が確認されている。

○広報活動や農業体験を通じて地域住民の農業への関心が高まっている。

○ひまわり祭りは地元に着定し、テレビで放映されるなど地域の一大イベントになっている。